USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

TH575

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

デジタル プロジェクター

取扱説明書

ホームエンターテイメント シリーズ | TH575

V 1.01

保証と著作権について

限定保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の欠陥に対して保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間内に本製品に欠陥が見つかった場合、BenQ の保証範囲は欠陥部品の交換（工賃を含む）に限定されます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：BenQ が取扱説明書等で規定している通常の使用の範囲外で使用された場合、上記の保証は無効となります。特に湿度が 10% から 90% の範囲で、温度は 0°C から 35°C の間、高度は 1500m 以下で使用いただき、埃の多い環境でのプロジェクターの使用は避けてください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com をご覧ください。

著作権

Copyright © 2022 by BenQ Corporation。All rights reserved。本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピューター言語への翻訳を行うことはできません。

おことわり

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、BenQ コーポレーションは本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。

*DLP、Digital Micromirror Device、および DMD は、Texas Instruments の商標です。その他の著作権は各社または各組織に帰属します。

特許

BenQ プロジェクターの特許については、http://patmarking.benq.com/ をご覧ください。

目次

保証と著作権について **2**

安全にお使いいただくために **4**

はじめに **7**

同梱物 7

プロジェクター外観 8

操作と機能 9

プロジェクターの配置 **12**

設置場所の選択 12

スクリーンサイズの調整 13

プロジェクターの取り付け 14

投写画像の調整 15

接続 **16**

操作 **18**

プロジェクターの起動 18

メニューの使用方法 19

プロジェクターの保護 20

入力信号の切り替え 22

プロジェクターをシャットダウンする 22

直接電源オフ 23

メニューの操作 **24**

メニュー システム 24

基本メニュー 28

詳細設定メニュー 30

メンテナンス **37**

プロジェクターのお手入れ 37

ランプについて 37

トラブルシューティング **41**

仕様 **42**

プロジェクターの仕様 42

外形寸法 43

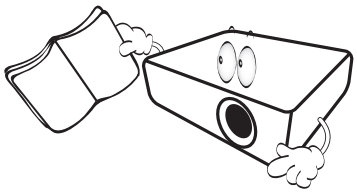
タイミングチャート 44

RS232 コマンド 46

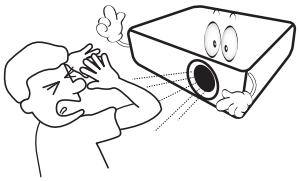
安全にお使いいただくために

お使いのプロジェクターは、情報テクノロジ機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

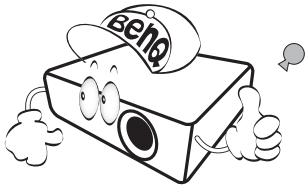
1. **プロジェクターを操作する前に、この取扱説明書をお読みください。**またいつでも参照できるように、手の届く場所に保管しておいてください。



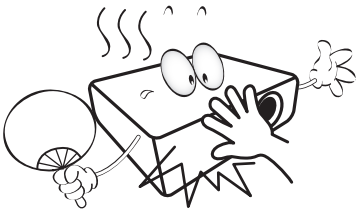
2. **動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。**強い光線なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。



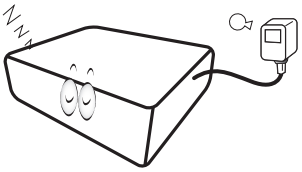
3. **点検修理については、サポートセンターにお問い合わせください。**



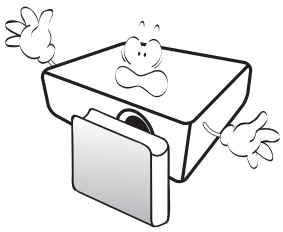
4. **プロジェクターのランプをオンにするときは、必ずレンズシャッター（ある場合）を開くか、レンズキャップ（ある場合）を取り外してください。**
5. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクターの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクターを常温に戻してください。



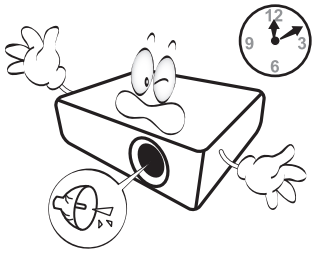
6. 国によっては、電源電圧が不安定な場合もあります。プロジェクターは、電源が AC 100 ～ 240 V の電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や ±10 V のサージが発生すると故障する可能性があります。**電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置 (UPS) にプロジェクターを接続することをお薦めします。**



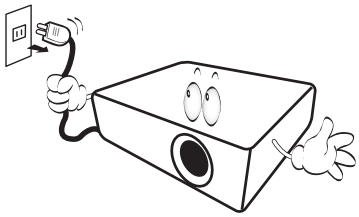
7. プロジェクターが作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。一時的にランプをオフにするには、消画機能をお使いください。



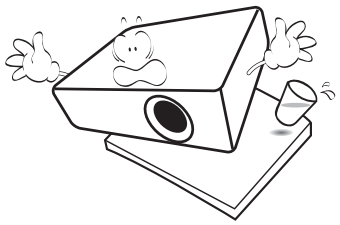
8. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。



9. ランプ部や電子部品の交換は、必ずプロジェクターの電源プラグを抜いてから行ってください。

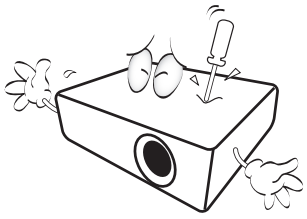


10. 本製品は安定した場所に設置してください。本製品が落下して、破損する恐れがあります。



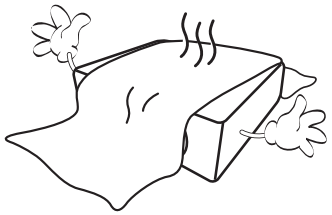
11. 本プロジェクターを分解しないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。お客様ご自身で補修できるパーツは、専用の取り外し可能なカバーが付いたランプ部分だけです。

    いかなる場合でも、カバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理はサポートセンターにお問い合わせください。



12. 通気口をふさがないでください。

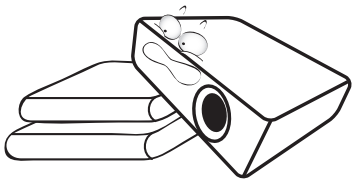
    - 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
    - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
    - プロジェクターの近くに可燃物を置かないでください。



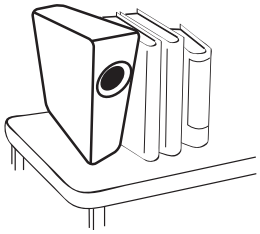
    通気口がふさがれると、プロジェクターの内部が過熱し、火災が発生することがあります。

13. 使用時は必ずプロジェクターを水平な平面上に置いてください。

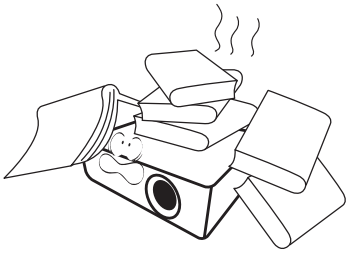
    - 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15° を超える状態で使用しないでください。完全に水平になっていない状態でプロジェクターを使用すると、ランプが故障したり破損したりすることがあります。



14. プロジェクターを縦向きにしないでください。縦向きにするとプロジェクターが倒れ、けがをしたり、プロジェクターが破損したりする恐れがあります。

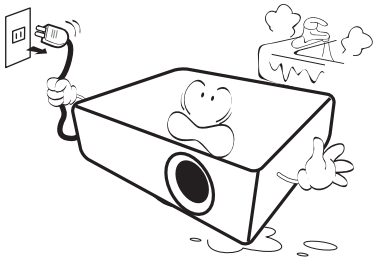


15. プロジェクターの上に乗ったり、物を置いたりしないでください。プロジェクターが物理的に破損するだけでなく、事故やけがの原因になります。

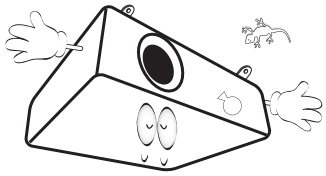


16. プロジェクターが作動しているときには、通気口から熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥によるものではありません。

17. プロジェクターの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクター内部に液体がこぼれると故障の原因になります。万一プロジェクター内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて BenQ サポートセンターにご連絡ください。

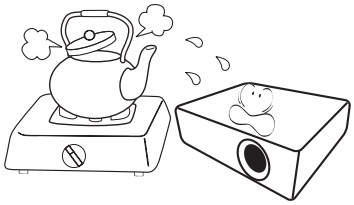


18. 本製品を天井に取り付けて、映像を反転投写することができます。

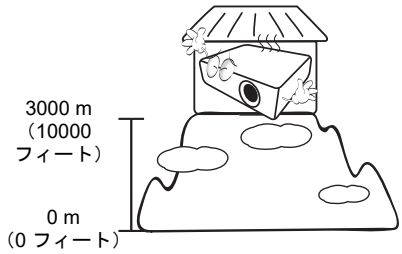


19. このプロジェクターは接地されていなければなりません。

20. 次の場所に装置を置かないでください。
    - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクターの周辺の風通しをよくしてください。
    - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
    - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクターの寿命が短くなり、画像が暗くなります。



    - 火災報知器に近い場所。
    - 周辺温度が 40°C / 104°F を超える場所。
    - 高度が 3000 メートル（10000 フィート）を超える場所。



リスクグループ 2

1. 光源と光源システムの光生物学的安全分類によると、この製品はリスクグループ 2、IEC 62471-5:2015 とされています。
2. この製品からは、光放射が放出される可能性があります。
3. 作動中の光源を見つめないでください。視覚障害を起こす可能性があります。
4. 他の光源同様、直接光線を見つめることはお止めください。



DLP チップの故障の原因となりますので、投写レンズに高性能レーザー光線を当てないでください。

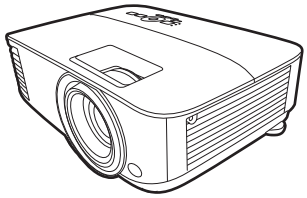
Hg - このランプの中には水銀が入っています。各自治体の回収規則にしたがってください。詳細は、www.lamprecycle.org をご覧ください。

はじめに

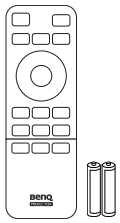
同梱物

丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

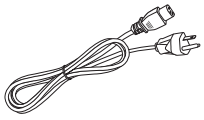
同梱品



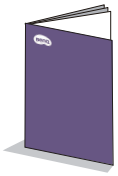
プロジェクター



リモコン（電池付き）



電源コード



クイックスタートガイド



保証書

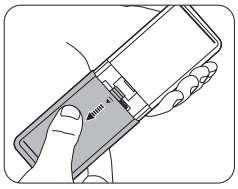
同梱のアクセサリ類は日本仕様のものであり、本書の図とは異なる場合があります。

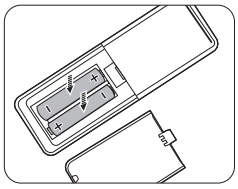
オプション アクセサリ

1. スペアランプキット
2. 3D メガネ
3. Instashow (WDC10/WDC20)
4. ダストフィルタ

リモコンの電池の交換

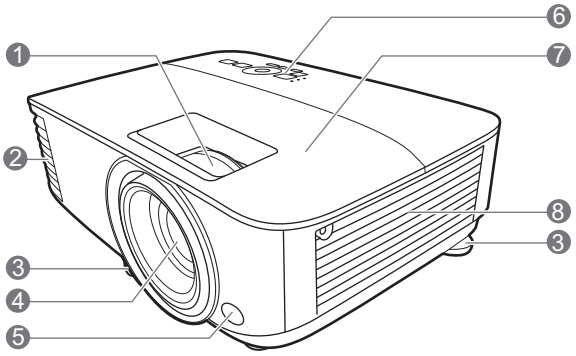
1. 図に示すように、バッテリーカバーを押すと開きます。
2. 古い電池を取り出して（該当する場合）、2 個の AAA（単 4）電池を挿入します。図に示すとおり、極性に注意してください。
3. 電池カバーをカチッという音がするまで元に戻してください。

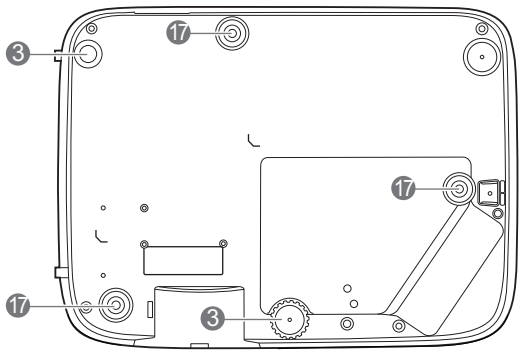


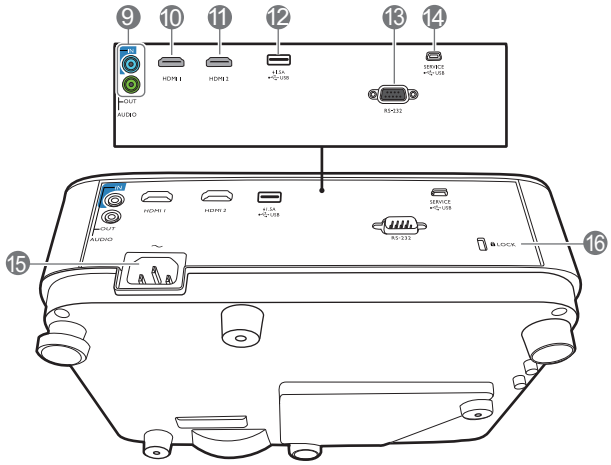


- リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じか、または同種の電池以外は使用しないでください。
- また、使用済みの電池はメーカーの指示および地域の環境規定にしたがって処分してください。
- 電池を火の中に投げ込まないでください。爆発の危険性があります。
- 電池が完全に消耗してしまったり、またはリモコンを長期間使用しないときには、液漏れによりリモコンが破損しないように電池は外しておいてください。

プロジェクター外観





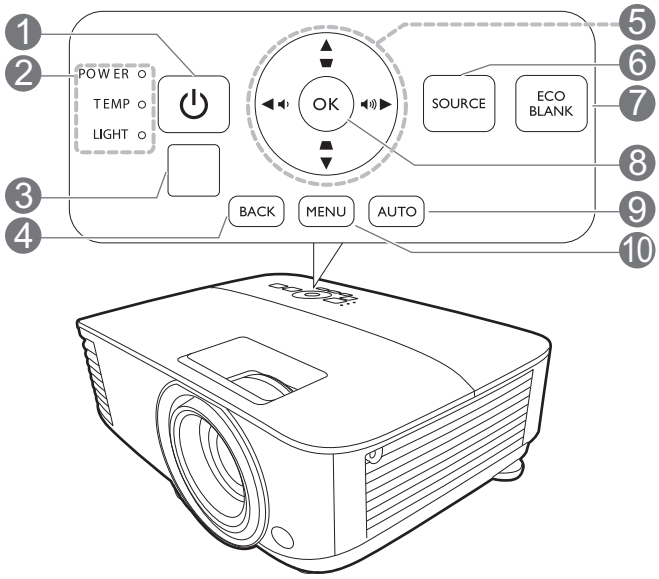


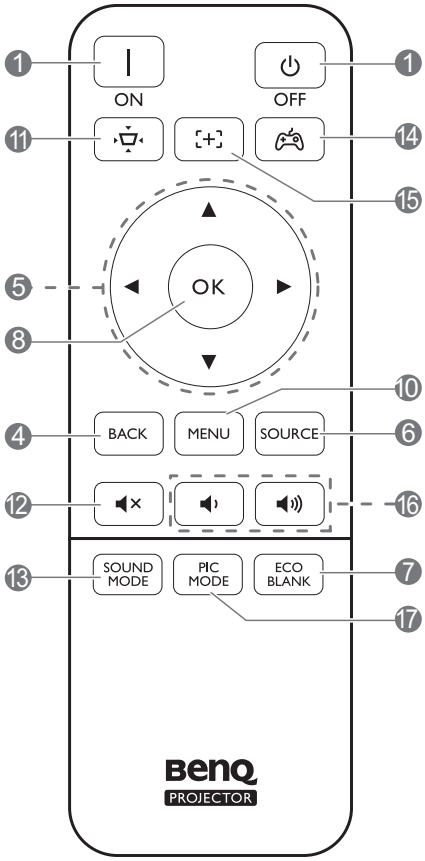
1. フォーカスリングとズームリング
2. 通気口（排気口）
3. 高さ調整脚
4. 投写レンズ
5. 赤外線センサー
6. 本体操作ボタン
   （9 ページの「操作と機能」を参照してください。）
7. ランプカバー
8. 通気口（吸気口）
9. オーディオ入力ジャック
   （プロジェクターの入力ソースを HDMI に設定し、DVI ケーブルと DVI-HDMI アダプターで DVI デバイスと接続した場合のみ動作します。）
   オーディオ出力 (3.5mm)
10. HDMI 1 入力ポート
11. HDMI 2 入力ポート
12. 充電付き USB Type-A ポート
13. RS-232 制御ポート
14. 補修用 USB ポート
15. AC 電源ジャック
16. Kensington 盗難防止用ロックスロット
17. 壁取り付け用穴

操作と機能

本体操作ボタンとリモコン

本書で説明するキーはすべて、リモコンまたはプロジェクターにあります。





1. **電源**

   スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。

   ON/ OFF

   スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。

2. **POWER（電源インジケーターライト）/ TEMP（温度警告ライト）/LIGHT（ライトインジケーターライト）**
   （40 ページの「インジケーター」を参照してください。）

3. 赤外線センサー

4. **BACK**

   前の OSD メニューに戻ったり、終了してメニュー設定を保存します。

5. 矢印キー（▲、▼、◀、▶）

   オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが有効な場合、これらのキーを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。

   台形補正キー（▲、▼）

   台形補正ページが表示されます。

   ボリュームキー /

   プロジェクターの音量を調整します。

6. **SOURCE**

   入力切替を表示します。

7. **ECO BLANK**

   映像を消画するために使用します。

   投写中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し、火災の原因となり危険です。

8. **OK**

   選択したオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを確定します。

9. **AUTO**

   PC 信号（アナログ RGB）を選択したとき、表示画像に最適なタイミングを自動的に決定します。

   * 互換性のあるプロジェクターでのみ使用可能です。

10. **MENU**

    オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。

11. 

    台形補正メニューを表示します。詳細は、15 ページの「台形補正」を参照してください。

12. 

    プロジェクター音声のオン / オフを切り替えます。

13. **SOUND MODE**

    サウンドモードメニューを表示します。

    * 互換性のあるプロジェクターでのみ使用可能です。

14. 

    プリセットのゲーム用の画像とサウンドモードを選択します（**高輝度 / 暗く**）。

15. 

    オートフォーカス機能の画面を開く、または閉じます。

    * 互換性のあるプロジェクターでのみ使用可能です。

16.  **/**

    プロジェクターの音量を調整します。

17. **PIC MODE**

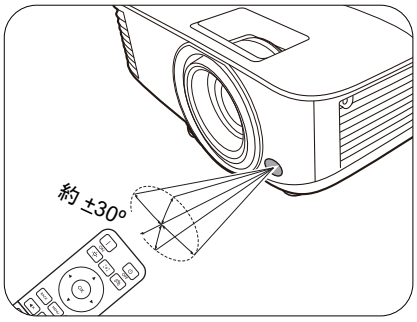
    画像モードメニューを表示します。

リモコンの有効範囲

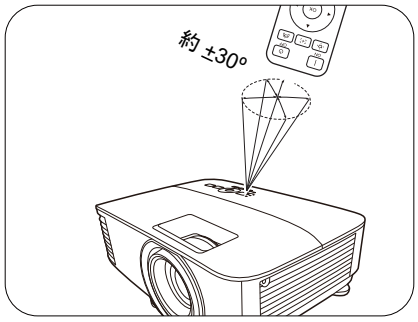
リモコンはプロジェクターの赤外線センサーに対して垂直に 30 度以内の角度に持たなければ、正しく作動しません。リモコンとセンサーの距離は、8 メートル（~ 26 フィート）以内でなければなりません。

リモコンとプロジェクターの赤外線センサーの間に障害物があると、赤外線が届かない場合があります。

• 正面からプロジェクターを操作する



• 上からプロジェクターを操作する



プロジェクターの配置

設置場所の選択

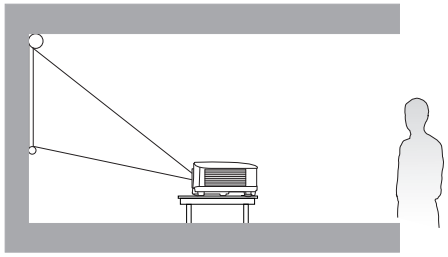
プロジェクターの設置場所を決める際には、次のことに配慮してください。

- スクリーンのサイズと位置
- コンセントの位置
- プロジェクターとその他のデバイスの間の位置と距離

このプロジェクターは、次の方法で設置できます。

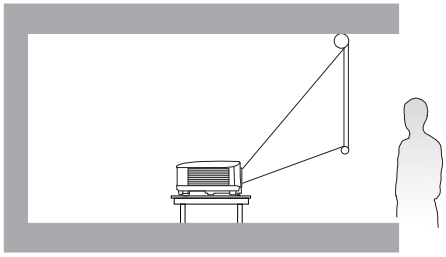
1. **前面投写**

プロジェクターをスクリーンの正面に置いた机の上に設置します。これが最も一般的な設置方法です。



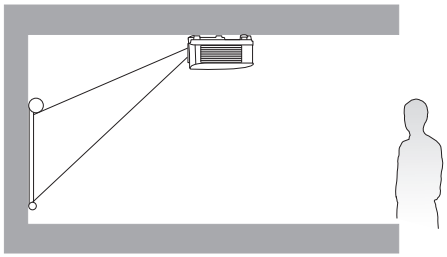
2. **リア投写**

プロジェクターをスクリーン背面に置いた机の上に設置します。専用の背面投写スクリーンが必要です。



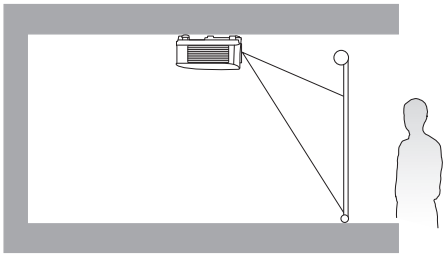
3. **天井前面投写**

プロジェクターを上下逆さにスクリーン正面の天井に取り付けます。この方法で設置する場合は、BenQ のプロジェクター天吊 / 壁取金具をご購入ください。



4. **天井背面投写**

プロジェクターを上下逆さにスクリーン背後から天井に取り付けます。専用の背面投写スクリーンと BenQ のプロジェクター天吊 / 壁取金具が必要です。

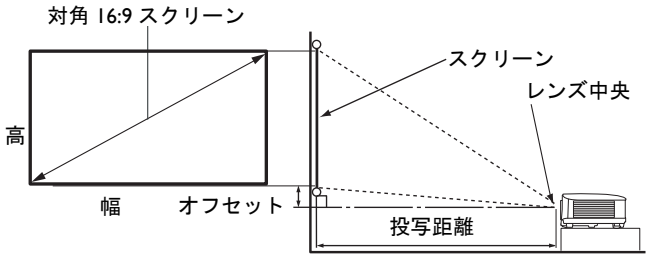


プロジェクターの電源を入れた後、**詳細設定メニュー - 設定** > **プロジェクタの設置**を選択して ◀/▶ を押し、設定を選択します。

スクリーンサイズの調整

投写距離、ズーム倍率（該当する場合）、アスペクト比により投写画面サイズは変化します。

投写サイズ



• スクリーンのアスペクト比は 16:9、投写画像のアスペクト比は 16:9

スクリーンサイズ				投写距離 (mm)			オフセット (mm)
対角		高 (mm)	幅 (mm)	最短距離	平均	最長距離	
インチ	mm			（最大ズーム）		（最小ズーム）	
30	762	374	664	990	1039	1089	30
40	1016	498	886	1319	1386	1452	40
50	1270	623	1107	1649	1732	1815	50
60	1524	747	1328	1979	2079	2178	60
70	1778	872	1550	2309	2425	2541	70
80	2032	996	1771	2639	2772	2905	80
90	2286	1121	1992	2969	3118	3268	90
100	2540	1245	2214	3299	3465	3631	100
110	2794	1370	2435	3628	3811	3994	110
120	3048	1494	2657	3958	4158	4357	120
130	3302	1619	2878	4288	4504	4720	130
140	3556	1743	3099	4618	4850	5083	139
150	3810	1868	3321	4948	5197	5446	149
160	4064	1992	3542	5278	5543	5809	159
170	4318	2117	3763	5608	5890	6172	169
180	4572	2241	3985	5937	6236	6535	179
190	4826	2366	4206	6267	6583	6898	189
200	5080	2491	4428	6597	6929	7261	199
250	6350	3113	5535	8246	8661	9077	249
300	7620	3736	6641	9896	10394	10892	299

たとえば、120 インチのスクリーンを使用する場合は、推奨する投写距離は 4158 mm となります。

測定した投写距離が 5200 mm であったとき、「投写距離 (mm)」欄の最も近い値は 5197 mm になります。同じ列を見ると、150 インチ（約 3.8 m）が必要なスクリーンであることが分かります。

投写の質を最適化するためにも、グレイエリア以外で投写を行うことをお勧めします。
測定値はすべておよその値であり、実際のサイズにより変わります。
プロジェクターを一定場所に固定する予定であれば、設置を行う前に実際にプロジェクターを使って投写サイズと距離を測っておかれるようお薦めします。このように準備しておくことによって、プロジェクターを最適な位置に固定することができます。

プロジェクターの取り付け

プロジェクターを取り付ける場合は、BenQ プロジェクター用の天吊金具をお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

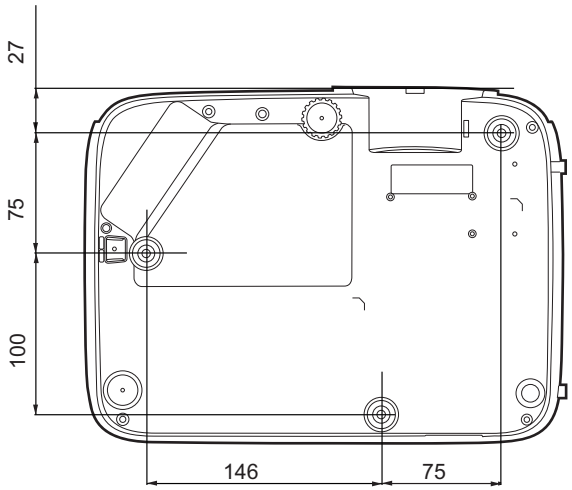
BenQ プロジェクター以外の取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないためプロジェクターが正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

プロジェクターを取り付ける前に

- BenQ プロジェクター用の天吊金具は、BenQ プロジェクターを購入されたショップでご購入いただけます。
- また別途 Kensington ロックをお求めになり、プロジェクターの Kensington ロックスロットと取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお薦めします。このようにしておくと、万一取り付け用ブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクターを補助的に支えることができます。
- プロジェクターの取り付けは、販売店にご依頼ください。お客様ご自身でプロジェクターを取り付けると、落下するなどしてケガの原因となります。
- 地震などの際にプロジェクターが落下しないように、正しい手順で設置してください。
- BenQ 製以外の取り付けキットを使用して取り付けた場合は、製品が故障しても保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 天井 / 壁に取り付ける場合は、周囲の温度にご注意ください。ヒーターを使用する場合は、天井 / 壁周辺の温度が予想以上に高くなる場合があります。
- トルク範囲については、取り付けキットの取り扱い説明書をお読みください。推奨範囲を超えてトルクを締め付けると、プロジェクターの故障の原因となり、結果的に落下する場合があります。
- いつでも簡単にプロジェクターをシャットダウンできるように、コンセントが手に届く位置にあるか確認してください。

天井 / 壁取り付け図

天井 / 壁取り付けネジ：M4
（最長 = 25 mm、最短 = 20 mm）



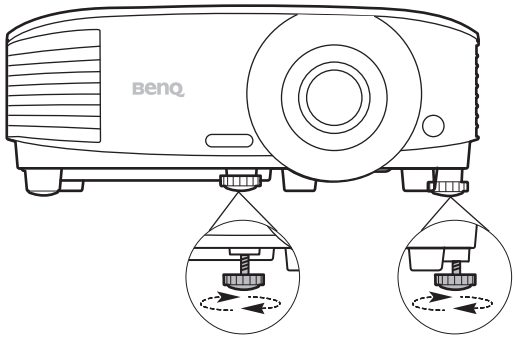
単位：mm

投写画像の調整

投写角度の調整

プロジェクターが床に対して水平な場所に設置されていない場合、またはスクリーンとプロジェクターが垂直に設置されていない場合は、投写画像が台形になります。調整脚を回して、水平角度を微調整します。

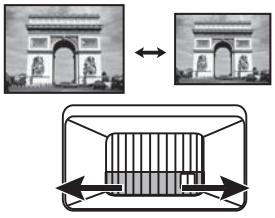
高さ調整脚を収納するには、背面調整脚のネジを反対方向に回します。



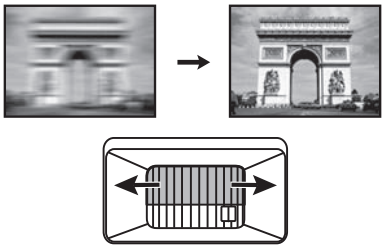
ランプが点灯しているときには絶対にレンズを覗かないでください。ランプからは強い光が発されており、目を傷つける場合があります。

画像サイズと明瞭さの微調整

投写されたイメージのサイズを調整するには、ズームリングを使用します。



フォーカスリングを回して焦点を合わせます。



台形補正

台形効果とは、スクリーンに対しプロジェクターのレンズ面が平行でない場合に、投写された映像が台形になることをいいます。

これを修正するには、これらいずれかの手順に従って、手動で補正する必要があります。

1. 次のいずれかの操作を実行すると、台形補正ページが表示されます。
   - プロジェクターの ▲/▼ を押します。
   - リモコンの [+] を押します。
   - **詳細設定メニュー - ディスプレイ** > **台形補正**を選択し、**OK** を押します。

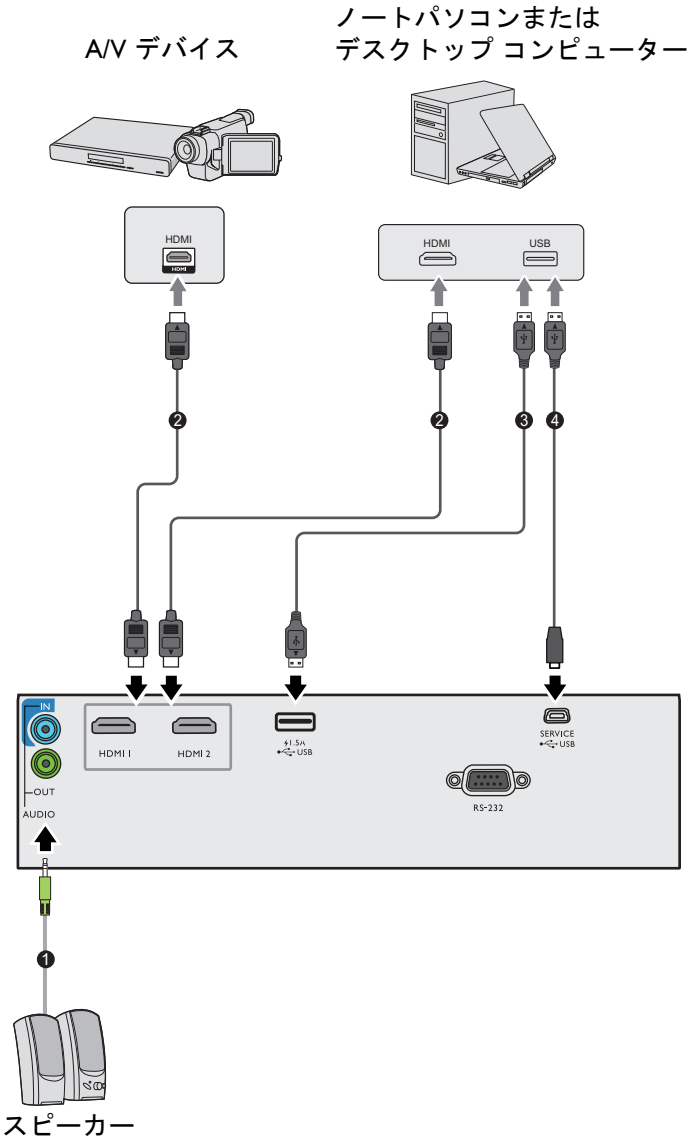


2. **台形補正**ページが表示されたら。▲ を押すと、画像の上部の台形歪みが補正されます。▼ を押すと、画像の下部の台形歪みが補正されます。

接続

信号ソースをプロジェクターに接続する際には、次の点を確認してください。

1. 接続を行う前にすべてのデバイスの電源をオフにします。
2. 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。



1	オーディオケーブル
2	HDMI ケーブル
3	USB ケーブル
4	USB ケーブル（補修専用）

- 上に示す接続図のケーブルは、本機に付属していません（詳細は、7 ページの「同梱物」を参照してください。）ケーブルはお近くの家電量販店でお求めください。
- 接続図は参考用です。プロジェクターの背面にある入出力端子は、プロジェクターのモデル毎に異なります。
- ノートパソコンによっては、プロジェクターを接続しただけでは映像が外部出力されまん。通常は Fn キー + モニターのアイコンが付いたファンクションキーを同時に押すと、外部出力をオン / オフすることができます。ノートパソコンのキーの組み合わせについては、ノートパソコンの説明書をお読みください。
- 電源をオンにして正しいビデオソースが選択されているにもかかわらず、映像が表示されない場合は、映像ソースの電源が投入されていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- 「オーディオ入力」ポートは、プロジェクターの入力ソースが HDMI に設定され、DVI ケーブルと DVI-HDMI アダプターで DVI デバイスと接続した場合のみ動作します。

オーディオ接続

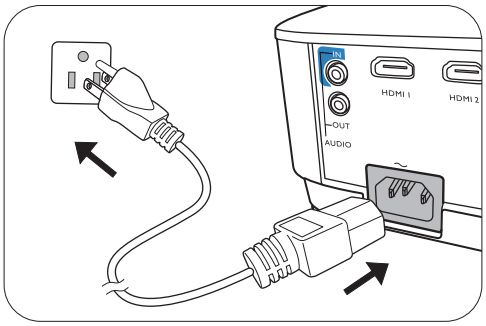
このプロジェクターにはビジネス用途に限り使用できる、データプレゼンテーションに組み込まれた基本的な音声機能を再生できるようにモノラル スピーカーが内蔵されています。このスピーカーはホームシアターやホームシネマなどに求められるステレオオーディオを再生するために設計されたものではありません。ステレオオーディオ入力は、プロジェクターのスピーカーを介して一般的なモノラルオーディオ出力にミキシングされます。

AUDIO OUT ジャックを接続すると、内蔵スピーカーは無音になります。

- このプロジェクターではステレオオーディオ入力が接続されていても、ミックスモノラルオーディオしか再生できません。
- 電源をオンにして正しいビデオソースが選択されているにもかかわらず、映像が表示されない場合は、映像ソースの電源が投入されていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

操作

プロジェクターの起動



1. 電源コードを繋ぎます。コンセントのスイッチをオンにします（該当する場合）。電流が流れると、プロジェクターの電源インジケーターがオレンジ色に点灯します。
2. プロジェクターの ⏻、またはリモコンの [I] を押すと、プロジェクターが起動します。電源インジケーターが緑色に点滅し、投写されると緑色に点灯します。

   起動処理には約 30 秒かかります。起動処理の後半で、スタートアップロゴが表示されます。

   必要であれば、フォーカスリングを使ってピントを調整してください。



3. 初めてプロジェクターを起動する場合は、画面の指示に従って OSD 言語を選択してください。
4. パスワードの入力を求められた場合は、矢印キーを押して 6 桁のパスワードを入力してください。20 ページの「パスワード機能を使用する」を参照してください。
5. 接続されているすべての機器の電源をオンにします。
6. プロジェクターが入力信号の検索を開始します。現在スキャン中の入力信号が表示されます。プロジェクターが有効な信号を検出しない場合は、入力信号が検出されるまで「信号なし」のメッセージが表示され続けます。

   入力信号を選択するには、**SOURCE** を押してください。22 ページの「入力信号の切り替え」を参照してください。

- 付属のアクセサリ（電源コードなど）を使って、感電や火災などの危険を防止してください。
- プロジェクターが前回使用したときから完全に冷め切っていない場合は、約 90 秒間冷却ファンが作動します。

- 初期設定ウィザードのスクリーンショットは参考用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。
- 入力信号の周波数 / 解像度がプロジェクターの動作範囲を超えた場合、「対応範囲外」というメッセージがバックグラウンド スクリーンに表示されます。プロジェクターの解像度に合った入力信号に変えるか、入力信号を低い値に設定し直してください。44 ページの「タイミングチャート」を参照してください。
- 3 分経過しても信号が検出されなければ、プロジェクターは自動的にエコモードに入ります。

メニューの使用方法

このプロジェクターは、2 種類のオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを備えており、各種の調整や設定が行えます。

- **基本** OSD メニュー：主要なメニュー機能を選択できます。（28 ページの「基本メニュー」を参照してください）
- **詳細設定** OSD メニュー：フルメニュー機能を選択できます。（30 ページの「詳細設定メニュー」を参照してください）

OSD メニューにアクセスするには、プロジェクターまたはリモコンの **MENU** を押します。

- プロジェクターかリモコンの矢印キー (▲/▼/◄/►) を使って、メニューアイテムを移動します。
- プロジェクターかリモコンの **OK** キーを押して、選択したメニュー項目を確定します。

初めてプロジェクターをお使いになる際は（初期設定終了後）、基本 OSD メニューが表示されます。

下の OSD スクリーンショットは参考用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。

以下に**基本** OSD メニューの概要を紹介します。

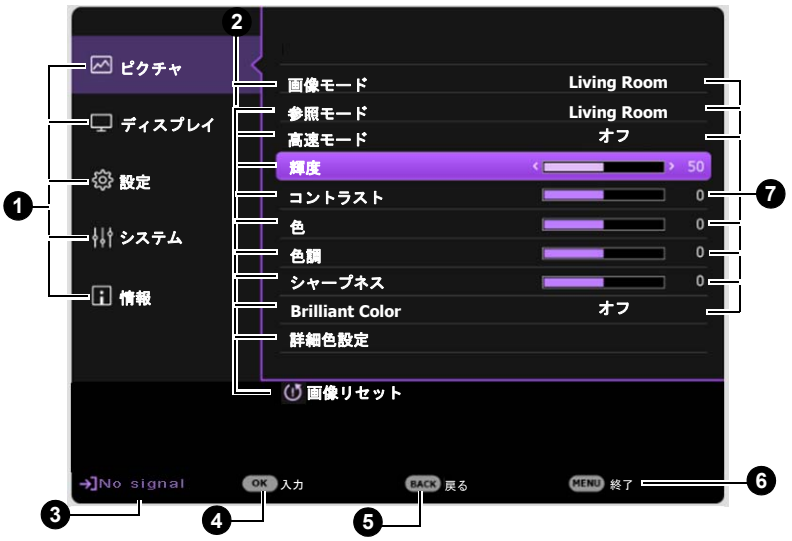


❶	メニュー タイプ	❹	**OK** を押すとメニューが開きます。
❷	メイン メニュー	❺	状態
❸	現在の入力信号	❻	**MENU** を押して終了します。

基本 OSD メニューから**詳細設定** OSD メニューに切り換えるには、次の手順に従ってください：

1. **基本メニュー** > **メニュー タイプ**を選択します。
2. **OK** を押した後、▲/▼ を押して**詳細設定**を選択します。次回プロジェクターに電源を入れるとき、**MENU** を押すと**詳細設定** OSD メニューにアクセスできるようになります。

以下に**詳細設定** OSD メニューの概要を紹介します。



❶	メインメニューとメインメニューのアイコン	❺	前のページに戻るには、**BACK** を押します。
❷	サブメニュー	❻	**MENU** を押して終了します。
❸	現在の入力信号	❼	状態
❹	**OK** を押すとメニューが開きます。		

同様に、**詳細設定** OSD メニューから**基本** OSD メニューに切り換えるには、次の手順に従ってください。

1. **詳細設定メニュー - システム** > **メニュー設定**を選択し、**OK** を押します。
2. **メニュー タイプ**および **OK** を選択します。
3. ▲/▼ を押して**基本**を選択します。次回プロジェクターに電源を入れるとき、**MENU** を押すと**基本** OSD メニューにアクセスできるようになります。

プロジェクターの保護

セキュリティケーブルロックの使い方

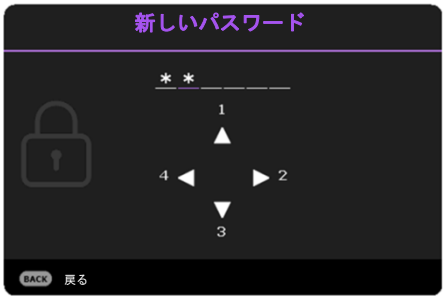
盗難防止のために、プロジェクターは安全な場所に設置してください。または Kensington ロックなどのロックを購入して、プロジェクターを安全に保護してください。Kensington ロック スロットはプロジェクターの背面にあります。8 ページの項目 16 を参照してください。

Kensington ケーブルロックは通常キーとロックを組み合わせたものです。ご使用方法については、ロックの説明書を参照してください。

パスワード機能を使用する

パスワードの設定

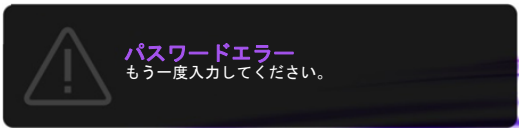
1. **詳細設定メニュー - 設定** > **セキュリティ設定**を選択します。**OK** を押すと**セキュリティ設定**ページが表示されます。
2. **パスワードの変更**を選択し、**OK** を押します。
3. 4 つの矢印キー（▲、▶、▼、◀）はそれぞれ 4 つの数字（1、2、3、4）を示しています。矢印キーを押して、6 桁のパスワードを入力して設定します。
4. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
   パスワードの設定が完了すると、オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューは**セキュリティ設定**ページに戻ります。



5. **電源ロック**機能を有効にするには、▲/▼ を押して、**電源ロック**を選択し、次に ◄/► を押して**オン**を選択してください。再度同じパスワードを入力します。

- 入力した数字は画面上にはアスタリスク (*) で表示されます。本書の下の欄に設定したパスワードを書き留めておいてください。
- 一度パスワードを設定して有効にして電源ロック機能を有効化すると、プロジェクターを起動するたびに正しいパスワードを入力しなければプロジェクターを使用することはできなくなります。

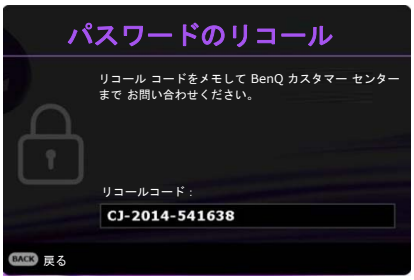
パスワードを忘れた場合



間違ったパスワードを入力すると、パスワードエラーメッセージが表示され、次に**パスワードの入力**というメッセージが表示されます。パスワードを完全に忘れてしまった場合は、パスワードのリコールを行ってください。21 ページの「パスワードの復旧を行うには」を参照してください。

パスワード入力を続けて 5 回間違えると、プロジェクターは間もなく自動的にシャットダウンします。

パスワードの復旧を行うには



1. **AUTO** を 3 秒間押し続けます。画面上にコードが表示されます。
2. コードを書き留めて、プロジェクターの電源をオフにしてください。
3. コードからパスワードを復旧するには、サポートセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクターを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。

パスワードの変更

1. **詳細設定メニュー - 設定** > **セキュリティ設定** > **パスワードの変更**を選択します。
2. **OK** を押すと**「パスワードの入力」**が表示されます。
3. 古いパスワードを入力してください。
   - パスワードが正しければ、**「新しいパスワード」**というメッセージが表示されます。
   - パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが表示され、**「パスワードの入力」**というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、**BACK** を押してください。
4. 新しいパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。

パスワード機能を無効にする

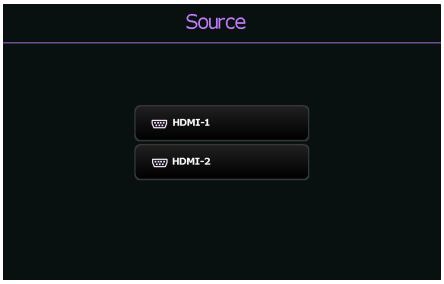
パスワード保護を解除するには、**詳細設定メニュー - 設定** > **セキュリティ設定** > **電源ロック**を選択し、◄/► を押して**オフを選択します。**すると**「パスワードの入力」**というメッセージが表示されます。現在のパスワードを入力してください。

- パスワードが正しく入力されると、OSD メニューの**セキュリティ設定**ページに戻ります。次回のプロジェクターの起動時からは、パスワードを入力する必要はありません。

- パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが表示され、**「パスワードの入力」**というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、**BACK** を押してください。

パスワード機能を無効にしても、再びパスワード機能を有効にするときに古いパスワードを入力するよう要求されますので、古いパスワードは忘れないように記録し保管しておいてください。

入力信号の切り替え



プロジェクターは同時に複数の機器に接続することができます。ただし一度に表示できる機器は 1 台です。起動時にプロジェクターは自動的に有効な信号を検出します。

プロジェクターに自動的に信号を検出させるためには、**詳細設定メニュー - 設定** > **自動入力検知**が**オン**になっていることを確認してください。

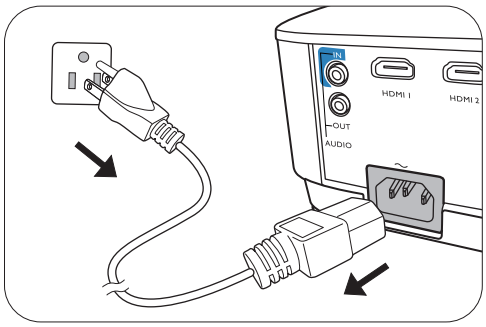
ソースの選択：

1. **SOURCE** を押します。するとソース選択バーが表示されます。
2. 任意の信号が選択されるまで ▲/▼ を押し、次に **OK** を押します。

   信号が検出されたら、選択したソース情報が画面の隅に数秒間表示されます。プロジェクターに複数の機器が接続されている場合は、ステップ 1-2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。

- 入力信号を変えると、そのたびに投写映像の輝度も変わります。
- 最高の画質を得るには、プロジェクターのネイティブ解像度で出力できる入力信号を選択、使用する必要があります。これ以外の解像度を使用すると、「アスペクト比」の設定によってプロジェクターが画像のアスペクト比を変更してしまうため、画像が歪んだり、鮮明さが失われたりします。28 ページの「アスペクト比」を参照してください。

プロジェクターをシャットダウンする



1. プロジェクターの ⏻ を押すか、リモコンの ⏻ を押すと、確認を促すメッセージが表示されます。数秒以内に応答しなければ、メッセージは自動的に消えます。
2. 再び ⏻ または ⏻ を押してください。電源インジケーターがオレンジ色に点滅して投写ランプが消灯した後、プロジェクターを冷却するためにファンが約 90 秒間動作を続けます。
3. 冷却処理が完了したら、電源インジケーターがオレンジに点灯し、ファンが停止します。電源コードをコンセントから抜きます。

- ランプを保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクターはいかなるコマンドにも反応しません。
- 冷却時間を短縮するには、クイッククーリング機能を有効にすることもできます。34 ページの「クイッククーリング」を参照してください。
- プロジェクターを切った直後に再び電源を入れると、高熱によりランプの寿命が短くなる場合がありますのでお止めください。
- ランプの寿命は、環境条件と使用条件により異なります。

直接電源オフ

AC 電源コードはプロジェクターをオフにした直後に抜くことができます。ランプを保護するために、約 10 分間待ってからプロジェクターを再起動してください。プロジェクターを再起動しようとすると、冷却のためにファンが数分間作動する場合があります。このような場合は、ファンが停止したら再び ⏻ か | を押してプロジェクターを起動してください。このとき電源インジケーターがオレンジ色に点灯します。

メニューの操作

オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューは、選択した信号のタイプと使用するプロジェクターのモデルにより異なります。

メニューアイテムはプロジェクターが最低 1 つの有効な信号を検出しなければ有効にはなりません。プロジェクターに装置が接続されていなかったり、信号が何も検出されなければ、限られたメニューアイテムにしかアクセスすることができません。

メニュー システム

基本メニュー

メイン メニュー	オプション
輝度	0~50~100
アスペクト比	自動 /4:3/16:9
画像モード	Bright/Living Room/Cinema/Game/Sports/ (3D)/User 1/User 2
音量	0~10~20
高速モード	オン / オフ
情報	ネイティブ解像度
	検出された解像度
	ソース
	画像モード
	ライト モード
	3D 形式
	カラー システム
	ランプ使用時間
	ファームウェアバージョン
	サービスコード
メニュー タイプ	基本 / 詳細設定

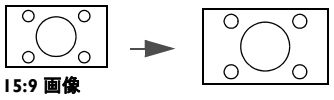
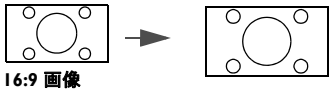
詳細設定メニュー

メイン メニュー	サブメニュー		オプション
ピクチャ	画像モード		Bright/Living Room/Cinema/Game/ Sports/(3D)/User 1/User 2
	参照モード		Bright/Living Room/Cinema/Game/ Sports
	高速モード		オン / オフ
	輝度		0~50~100
	コントラスト		0~50~100
	色		0~50~100
	色調		0~50~100
	シャープネス		0~7~15
	Brilliant Color		オン / オフ
	詳細色設定	色温度	高い / 標準 / 低い / ネイティブ
		色温度の微調整	R ゲイン (0~200)
			G ゲイン (0~200)
			B ゲイン (0~200)
			R オフセット (0~511)
			G オフセット (0~511)
			B オフセット (0~511)
		カラーマネージメント	R （原色 / 色相 / 彩度 / ゲイン）
			G （原色 / 色相 / 彩度 / ゲイン）
			B （原色 / 色相 / 彩度 / ゲイン）
			C （原色 / 色相 / 彩度 / ゲイン）
			M （原色 / 色相 / 彩度 / ゲイン）
			Y （原色 / 色相 / 彩度 / ゲイン）
			W （原色 /R ゲイン /G ゲイン / B ゲイン）
		ガンマ選択	1.6/1.8/2.0/2.1/2.2/2.3/2.4/2.6/2.8/ BenQ
		ライト モード	標準 / エコ /SmartEco/LampSave
	画像リセット		リセット / キャンセル
ディスプレイ	アスペクト比		自動 /4:3/16:9
	台形補正		-40~0~40
	自動縦キーストーン		-40~0~40
	テストパターン		オン / オフ
	3D	3D 逆同期	無効 / 逆転
		3D 設定を適用	3D 設定 1/3D 設定 2/3D 設定 3/ オフ
		3D 設定を保存	3D 設定 1/3D 設定 2/3D 設定 3
	HDMI フォーマット	HDMI-1	自動 /RGB 制限あり /RGB フル / YUV 制限あり
		HDMI-2	
	ディスプレイリセット		リセット / キャンセル

メイン メニュー	サブメニュー		オプション
設定	プロジェクタの設置		前面投写 / リア投写 / 天井背面投写 / 天井前面投写
	自動入力検知		オン / オフ
	ライト設定	ライトタイマーをリセット	リセット / キャンセル
		ランプ使用時間	
	操作設定	クイッククーリング	オン / オフ
		アラームメッセージ	オン / オフ
		高地モード	オン / オフ
		電源オン / オフの設定	ダイレクト電源オン
			信号入力時電源オン
			自動パワーオフ
			電源オフタイマー
		クイック再起動	オン / オフ
	セキュリティ設定	パネル キー ロック	オン / オフ
		パスワードの変更	
		電源ロック	オン / オフ
	ボーレート		9600/14400/19200/38400/57600/115200
	設定をリセット		リセット / キャンセル
システム	言語		English/Français/Deutsch/Italiano/Español/Русский/繁體中文/简体中文/日本語/한국어/Svenska/Nederlands/Türkçe/Čeština/Português/ไทย/Polski/Magyar/Hrvatski/Română/Norsk/Dansk/Български/Suomi/Bhs Ind / Ελληνικά/ العربية/हिंदी
	背景設定	背景	BenQ/ 黒 / 青 / 紫
		起動画面	BenQ/ 黒 / 青
	メニュー設定	メニュー タイプ	基本 / 詳細設定
		メニュー表示時間	5 秒 /10 秒 /20 秒 /30 秒 / 常に使用する
	オーディオ設定	ミュート	オン / オフ
		音量	0~10~20
		電源オン / オフ音	オン / オフ
	初期値		リセット / キャンセル
	システムをリセット		リセット / キャンセル

メイン メニュー	サブメニュー	オプション
情報	ネイティブ解像度	
	検出された解像度	
	ソース	
	画像モード	
	ライト モード	
	3D 形式	
	カラー システム	
	ランプ使用時間	
	ファームウェアバージョン	
	サービスコード	

基本メニュー

輝度	値を高くするほどイメージの輝度が増加します。この項目を調整し、映像の黒い部分がちょうど黒く見えるように、また暗い部分のディテールが見えるように調整します。
アスペクト比	入力信号ソースによって、画像のアスペクト比を設定するいくつかのオプションがあります。 • **自動**：画像をプロジェクター本来の解像度の水平幅または垂直高に合わせて表示します。  15:9 画像 • **4:3**：スクリーンの中央が 4:3 のアスペクト比になるようにイメージを調整します。  4:3 画像 • **16:9**：スクリーンの中央が 16:9 のアスペクト比になるようにイメージを調整します。  16:9 画像
画像モード	このプロジェクターは操作環境や入力信号の画像タイプによって自由に選択できるように、いくつかのピクチャモードのプリセットがあります。 • **Bright**：映像の輝度を最大限明るくします。このモードは、プロジェクターを明るい部屋で使用する場合など輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています。 • **Living Room**：適切な彩度の色、調整されたシャープネス、高い輝度値のとき、**Living Room** モードが ＴＶ ストリーミングを鑑賞するのに最適です。 • **Cinema**：低い輝度レベルで忠実な色再現と深いコントラストで、**Cinema** モードは劇場シネマで観賞しているかのように、比較的明るい部屋でムービーを再生するのに適しています。 • **Game**：このモードは、リビングなど照明が暗めの室内でゲームをするのに適しています。 • **Sports**：高彩度の色と高い輝度レベルにより、明るい部屋でスポーツイベントを観賞するのに適しています。 • **3D**：3D 画像および 3D ビデオ クリップを再生するのに適しています。 • **User 1**/**User 2**：現在有効なピクチャモードを元にカスタマイズした設定を呼び出します。30 ページの「参照モード」を参照してください。
音量	サウンド レベルを調整します。
高速モード	入力源と表示画像の応答時間が短縮されます。最適な応答速度を実現するために、**高速モード**が有効化されると**台形補正**と**アスペクト比**がデフォルト設定に戻り、**自動縦キーストーン**は自動的に無効化されます。 * **高速モード**は一般的なゲームで次の入力がされた場合にのみ有効にできます。 - 1080p 60Hz/120Hz/240Hz - 4K60Hz

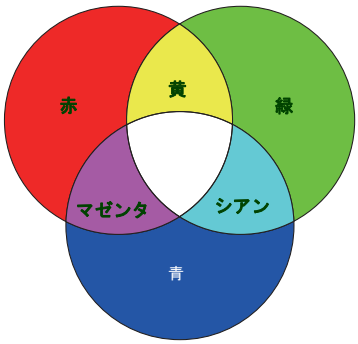
情報	• **ネイティブ解像度**：このプロジェクターのネイティブ解像度を表示します。 • **検出された解像度**：入力信号のネイティブ解像度を表示します。 • **ソース**：現在の信号ソースを表示します。 • **画像モード**：**ピクチャ**メニューで選択したモードを表示します。 • **ライト モード**：**ライト設定**メニューで選択したモードを表示します。 • **3D 形式**：現在の 3D モードが表示されます。 • **カラー システム**：入力システムフォーマットを表示します。 • **ランプ使用時間**：ランプの使用時間数が表示されます。 • **ファームウェアバージョン**：プロジェクターのファームウェアバージョンが表示されます。 • **サービスコード**：プロジェクターの補修コードが表示されます。
メニュー タイプ	**詳細設定** OSD メニューを選択します。19 ページの「メニューの使用方法」を参照してください。

詳細設定メニュー

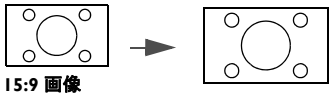
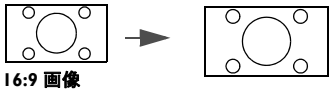
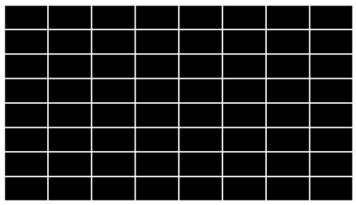
ピクチャ

画像モード	このプロジェクターは操作環境や入力信号の画像タイプによって自由に選択できるように、いくつかのピクチャモードのプリセットがあります。 • **Bright**：映像の輝度を最大限明るくします。このモードは、プロジェクターを明るい部屋で使用する場合など輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています。 • **Living Room**：適切な彩度の色、調整されたシャープネス、高い輝度値のとき、**Living Room** モードが ＴＶ ストリーミングを鑑賞するのに最適です。 • **Cinema**：低い輝度レベルで忠実な色再現と深いコントラストで、**Cinema** モードは劇場シネマで観賞しているかのように、比較的明るい部屋でムービーを再生するのに適しています。 • **Game**：このモードは、リビングなど照明が暗めの室内でゲームをするのに適しています。 • **Sports**：高彩度の色と高い輝度レベルにより、明るい部屋でスポーツイベントを観賞するのに適しています。 • **3D**：3D 画像および 3D ビデオ クリップを再生するのに適しています。 • **User 1/User 2**：現在有効なピクチャモードを元にカスタマイズした設定を呼び出します。30 ページの「参照モード」を参照してください。
参照モード	現在有効なピクチャモードが目的に合致しない場合は、2 種類のモードをユーザー定義することができます。ピクチャモードの 1 つ（**User 1/User 2** 以外）をスターティングポイントとして使用し、そこから設定をカスタマイズすることができます。 1. **ピクチャ** > **画像モード**を選択します。 2. ◀/▶ を押して **User 1** または **User 2** を選択します。 3. ▼ を押して**参照モード**を選択し、◀/▶ を押して用途に最も合ったピクチャモードを選択してください。 4. ▼ を押して変更したいメニューアイテムを選択し、値を調整します。調整内容によって選択したユーザーモードが定義されます。
高速モード	入力源と表示画像の応答時間が短縮されます。最適な応答速度を実現するために、**高速モード**が有効化されると**台形補正**と**アスペクト比**がデフォルト設定に戻り、**自動縦キーストーン**は自動的に無効化されます。 * **高速モード**は一般的なゲームで次の入力がされた場合にのみ有効にできます。 - 1080p 60Hz/120Hz/240Hz - 4K60Hz
輝度	値を高くするほどイメージの輝度が増加します。この項目を調整し、映像の黒い部分がちょうど黒く見えるように、また暗い部分のディテールが見えるように調整します。

コントラスト	値を高くするほどコントラストが増加します。選択した入力と表示環境に合わせて輝度を調整した後、これを使って白のピークレベルを設定することができます。
色	設定を下げると、彩度が低くなります。逆に値を上げすぎると、画像の色が不自然に強調されてしまいます。  YUV 色領域のみ対応しています。
色調	値を高くするほど緑がかった画像になります。値を低くするほど赤みがかった画像になります。
シャープネス	値を高くするほど画像がシャープになります。
Brilliant Color	この機能は新しい色処理アルゴリズムとシステムレベルでの向上を利用して、よりリアルで鮮やかな色を提供すると共に、明るさをより高めることができます。ビデオや自然のシーンでよく見られる中間調イメージであれば、50% 以上も輝度を上げることができますので、リアルで自然な色を再現することが可能です。高画質なイメージを表示したい場合は、**オン**を選択してください。 **オフ**に設定されている場合は、**色温度**機能は使用できません。
詳細色設定	**色温度** いくつかのプリセット色温度設定が使用できます。設定は、選択した入力タイプによって異なります。 **Bright** が**画像モード**に対して選択されている場合は、色温度が**ネイティブ**に切り替わり変更することができなくなります。 • **標準**：白の色合いを通常に保ちます。 • **高い**：画像を青みがかった白で表示します。 • **低い**：画像を赤みがかった白で表示します。 • **ネイティブ**：光源の本来の色温度を維持しながら輝度を高めるこの設定は、明るい部屋で画像を投写する場合など、高輝度が求められる環境に適しています。
	色温度の微調整 次のオプションを調整すると、任意の色温度を設定できます。 • **R ゲイン /G ゲイン /B ゲイン**：赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。 • **R オフセット /G オフセット /B オフセット**：赤、緑、青の輝度レベルを調整します。

	カラーマネージメント この機能を使うと、6 色 (RGBCMY) を調整することができます。それぞれの色を選択すると、その色の範囲と彩度を個別に自在に調整することができます。 • **原色**：**R**（赤）、**G**（緑）、**B**（青）、**C**（シアン）、**M**（マゼンタ）、**Y**（黄）、**W**（白）の中から色を選択します。 • **色相**：範囲を広げると、隣り合う 2 色のより広い範囲の色が含まれます。各色がどのように関連し合っているかについては、図を参照してください。 例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、投写画像の中で純粋な赤だけが選択されます。範囲を広げると、黄に近い赤やマゼンタに近い赤も含まれます。  • **彩度**：見やすいように値を調整してください。調整内容は直ちに画像に反映されます。 例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、純粋な赤の彩度だけが影響を受けます。 **彩度**はビデオ映像の色の量のことです。値を低くすると彩度が低くなります。「0」に設定すると、画像から完全に色を抜いてしまいます。彩度が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。 • **ゲイン**：見やすいように値を調整してください。選択した原色のコントラスト レベルが影響を受けます。調整内容は直ちに画像に反映されます。 **ホワイト バランス** (W) を選択すると、**R ゲイン**、**G ゲイン**、**B ゲイン**を選択することで赤、緑、青のコントラストレベルを調整することができます。
	ガンマ選択 ガンマとは、入力ソースと画像の輝度の関連性のことです。 • **1.6/1.8/2.0/2.1/BenQ**：投写具合によって適切な値を選択してください。 • **2.2/2.3**：映像の輝度を上げます。明るい環境、会議室、リビングに最適です。 • **2.4/2.6**：暗室でムービーを鑑賞するのに最適です。 • **2.8**：ほとんどが暗いシーンで構成されるムービーに最適です。
	ライト モード 38 ページの「ライト モードを設定する」を参照してください。
画像リセット	**ピクチャ**メニューの調整内容がすべて初期値に戻されます。

ディスプレイ

アスペクト比	入力信号ソースによって、画像のアスペクト比を設定するいくつかのオプションがあります。 この画像調整を行うと、**Game** モードの遅延に影響を与える場合があります。低遅延でゲームを楽しむには、**アスペクト比**を**自動**に設定することをお勧めします。 • **自動**：画像をプロジェクター本来の解像度の水平幅または垂直高に合わせて表示します。  • **4:3**：スクリーンの中央が 4:3 のアスペクト比になるようにイメージを調整します。  • **16:9**：スクリーンの中央が 16:9 のアスペクト比になるようにイメージを調整します。 
台形補正	画像の台形歪みを補正します。15 ページの「台形補正」を参照してください。
自動縦キーストーン	自動立てキーストーンを選択すると、プロジェクターの画像が自動的にキーストーンを調整します。
テストパターン	イメージサイズとフォーカスを調整し、投写映像に歪みがないことを確認するのに役立ちます。 
3D	このプロジェクターには、画像に深みを与えることで 3D ムービー、動画、スポーツイベントをよりリアルにご覧いただける 3D 機能が搭載されています。3D 映像をご覧になるには、3D メガネを着用する必要があります。 • **3D 逆同期**：画像の深さが逆転している場合は、この機能を有効にすると問題を解決できます。 • **3D 設定を適用**：3D 設定を保存した後は、保存した 3D 設定を選択することでそれを適用するかどうかを決定できます。適用後は、入力 3D コンテンツが保存した 3D 設定と一致する場合、プロジェクターは自動的に再生を開始します。 保存されたデータを持つ 3D 設定のみ使用可能です。 • **3D 設定を保存**：調節後に 3D コンテンツを表示できたらこの機能を有効にして、現在の 3D 設定を保存するために 3D 設定を選択することができます。

HDMI フォーマット	適切なカラーフォーマットを選択し、表示画質を最適化します。 • **自動**：受信した HDMI 信号のカラースペースおよびグレイレベルを自動的に選択します。 • **RGB 制限あり**：制限付き範囲の RGB 16-235 を使用します。 • **RGB フル**：フル範囲の RGB 0-255 を使用します。 • **YUV 制限あり**：制限付き範囲の YUV 16-235 を使用します。
ディスプレイリセット	**ディスプレイ**メニューの調整内容がすべて初期値に戻されます。

設定

プロジェクタの設置	12 ページの「設置場所の選択」を参照してください。
自動入力検知	プロジェクターに信号を自動検出することができます。
ライト設定	• **ライトタイマーをリセット**：39 ページの「ライトタイマーをリセットします（サービス担当者が行います）」を参照してください。 • **ランプ使用時間**：ランプの使用時間数を表示します。
操作設定	**クイッククーリング**： **オン**を選択するとこの機能が有効になり、プロジェクターの冷却時間が通常の 90 秒よりも短くなり 15 秒程度で冷却が終了します。
	アラームメッセージ アラーム メッセージをオンまたはオフにします。
	高地モード 海抜 1500 m ～ 3000 m、気温 0°C ～ 30°C の環境で本製品を使用する場合は、**高地モード**を使用されるようお勧めします。 「**高地モード**」を選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。 上記の場合を除き、それ以外の極限環境でプロジェクターを使用すると、プロジェクターが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクターを過熱から保護するために施された機能です。このような場合は、高地モードに切り替えてみてください。ただし、これはこのプロジェクターが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。  高度 0 m ～ 1500 m、温度 0°C ～ 35°C の範囲内では**高地モード**は使用しないでください。このような環境でこのモードを有効にすると、プロジェクターが過度に冷却されてしまいます。

	電源オン / オフの設定 • **ダイレクト電源オン**：電源コードから電源が供給されると、プロジェクターは自動的に起動します。 • **信号入力時電源オン**：プロジェクターがスタンバイ モードになっており、5 V 電源の HDMI 信号が検出されると、**電源**または **ON** を押さなくてもプロジェクターを直接オンにするかどうかを設定します。 • **自動パワーオフ**：指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、無駄にランプの寿命を消耗しないように自動的にプロジェクターの電源をオフにします。 • **電源オフタイマー**：自動的にシャットダウンするまでのタイマーを設定します。
	クイック再起動 プロジェクターをオフにしてから 90 秒以内に再起動することができます。
セキュリティ設定	20 ページの「パスワード機能を使用する」を参照してください。
ボーレート	適切な RS-232 ケーブルを使ってプロジェクターをコンピューターに接続し、プロジェクターのファームウェアを更新またはダウンロードできるように、ボーレートはコンピューターと同じ値に設定してください。この機能は専門の技術者用に設けられています。
設定をリセット	**設定**メニューの調整内容がすべて初期値に戻されます。

システム

言語	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの言語を設定します。
背景設定	• **背景**：プロジェクターの背景色を設定します。 • **起動画面**：プロジェクター起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。
メニュー設定	• **メニュー タイプ**：**基本** OSD メニューを選択します。 • **メニュー表示時間**：最後にキーを押してからの OSD の表示時間を設定します。
オーディオ設定	• **ミュート**：サウンドを一時的に無音にできます。 • **音量**：サウンド レベルを調整します。 • **電源オン / オフ音**：プロジェクターを起動またはシャットダウンするときのサウンドをオン / オフにします。 **電源オン / オフ音**を変更するには、ここで**オン**または**オフ**を設定する以外に方法はありません。無音にしたり、音量を変更したりしても、**電源オン / オフ音**には影響しません。
初期値	すべての設定を工場出荷時の値に戻します。 次の設定は現在の設定値のまま維持されます：**台形補正**、**自動縦キーストーン**、**プロジェクタの設置**、**ランプ使用時間**、**高地モード**、**セキュリティ設定**、**ボーレート**。

システムをリセット	**システム**メニューの調整内容がすべて初期値に戻されます。

情報

情報	• **ネイティブ解像度**：このプロジェクターのネイティブ解像度を表示します。 • **検出された解像度**：入力信号のネイティブ解像度を表示します。 • **ソース**：現在の信号ソースを表示します。 • **画像モード**：**ピクチャ**メニューで選択したモードを表示します。 • **ライト モード**：**ライト設定**メニューで選択したモードを表示します。 • **3D 形式**：現在の 3D モードが表示されます。 • **カラー システム**：入力システムフォーマットを表示します。 • **ランプ使用時間**：ランプの使用時間数が表示されます。 • **ファームウェアバージョン**：プロジェクターのファームウェアバージョンが表示されます。 • **サービスコード**：プロジェクターの補修コードが表示されます。

メンテナンス

プロジェクターのお手入れ

レンズのクリーニング

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。レンズのお手入れを開始する前に、プロジェクターをオフにして完全に冷却してください。

- エアダスターを使ってほこりを取り除いてください。
- 汚れやしみが付いた場合は、レンズ クリーニング ペーパーまたはレンズ クリーナで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。
- 研磨用パッド、アルカリ性 / 酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを接触したままの状態にしておくと、プロジェクターの表面やキャビネットの素材を傷つける場合があります。

プロジェクター筐体のお手入れ

筐体のお手入れを行う前に、22 ページの「プロジェクターをシャットダウンする」に記載されている正しい手順でプロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いてください。

- ほこりや汚れを取り除くには、柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
- 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、筐体を拭きます。

ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、筐体を傷める場合があります。

プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する必要がある場合、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクターの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、42 ページの「仕様」を参照するか、販売店にお尋ねください。
- 調整脚を収納します。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクターを元の梱包または同等の梱包に入れます。

プロジェクターの移動

プロジェクターを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

ランプについて

ランプ時間を知るには

プロジェクターが作動している間、プロジェクターに内蔵されたタイマーがランプの使用時間（時間単位）を自動的に計算します。ランプ時間の計算方法は次の通りです。

ランプ使用時間 =（**標準**モードで使用した時間）+（**エコ**モードで使用した時間）+（**SmartEco** モードで使用した時間）+（**LampSave** モードで使用した時間）

合計（相当）ランプ時間 = 3 x（**標準**モードで使用した時間）+ 1.5 x（**エコ**モードで使用した時間）+ 1.5 x（**SmartEco** モードで使用した時間）+ 1 x（**LampSave** モードで使用した時間）

ランプ時間を確認する：

1. **詳細設定メニュー - 設定** > **ライト設定**を選択し、**OK** を押します。すと**ライト設定**ページが表示されます。
2. ▼ を押して**ランプ使用時間**を選択し、**OK** を押してください。すると**ランプ使用時間**情報が表示されます。

また、**情報**メニューではランプ時間情報を見ることもできます。

ランプ寿命を伸ばすには

• **ライト モード**を設定する

詳細設定メニュー - ピクチャ > **詳細色設定** > **ライト モード**を選択し、モードの中から適切なランプ電源を選択します。

プロジェクターを**エコ**、**SmartEco** または **LampSave** モードで使用すると、ランプの寿命を延長することができます。

ライトモード	説明
標準	ランプを完全に明るくします。
エコ	明るさを下げて、ランプを長く使えるようにします。また、ファンのノイズも小さくなります。
SmartEco	コンテンツの輝度レベルによっては、表示品質を最適化しながらランプの強度を自動的に調整します。
LampSave	コンテンツの輝度レベルによっては、ランプの寿命を延長しながらランプの強度を調整します。

• **自動パワーオフ**を設定する

指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、無駄にランプの寿命を消耗しないように自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

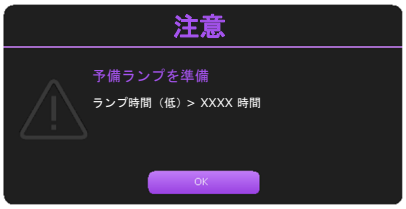
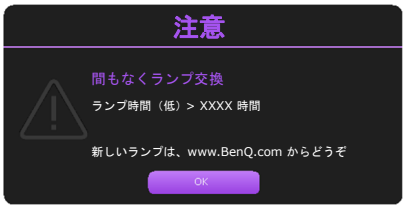
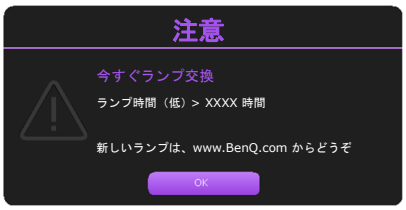
自動パワーオフを設定するには、**詳細設定メニュー - 設定** > **操作設定** > **電源オン / オフの設定** > **自動パワーオフ**を選択して ◀/▶ を押します。

ランプを交換する時期

ライトインジケーターが赤に点灯した場合、またはランプの交換時期であることを示すメッセージが表示された場合は、新しいランプを取り付ける前に、お買い上げの販売店にお尋ねになる か、http://www.BenQ.com をご覧ください。古いランプを使用すると、プロジェクターの誤動作の原因となり、ランプが破裂することもあります。

- 投写イメージの明るさは、周辺光の状態および選択した入力信号のコントラスト / 輝度設定によって変わります。また投写距離の影響を直接受けます。
- ランプの明度は時間の経過に伴い暗くなります。また明度はランプ製造元の仕様によって異なります。これは異常ではなく、正常で予期される変化です。
- ランプが過熱すると、**LIGHT（ライトインジケーターライト）**と **TEMP（温度警告ライト）**が点灯します。この場合は、電源をオフにして 45 分間ほど放置し、プロジェクターを常温に戻してください。このようにしても電源をオンにしたときにライトまたは温度インジケーターライトが点灯する場合は、販売店、又はサポートセンターご相談ください。40 ページの「インジケーター」を参照してください。

次のランプ警告が表示されたら、ランプを交換してください。

	動作を最適化するために、新しいランプを取り付けてください。**OK** を押すと、メッセージが消去されます。
	この時点でランプを交換されるよう強くお薦めします。ランプは消費アイテムです。ランプは使用を重ねる毎に明るさが徐々に失われます。これは正常な状態です。ランプが非常に暗くなったら、いつでもランプを交換してください。 **OK** を押すと、メッセージが消去されます。
 	プロジェクターを正常に動作させるには、ランプを交換してください。 **OK** を押すと、メッセージが消去されます。

上記のメッセージで「XXXX」の部分に表示される数字はモデルによって異なります。

ライトタイマーをリセットします（サービス担当者が行います）

スタートアップロゴの次にオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが表示されます。**詳細設定メニュー - 設定** > **ライト設定**を選択し、**OK** を押します。すと**ライト設定**ページが表示されます。**ライトタイマーをリセット**を選択し、**OK** を押します。ライトタイマーをリセットしても良いかどうかを確認するためのメッセージが表示されます。**リセット**を選択し、**OK** を押します。するとライト時間が「0」にリセットされます。

ランプを交換していない場合はリセットしないでください。ランプが破損する恐れがあります。

インジケーター

ライト			状態と説明
POWER ○	TEMP ○	LIGHT ○	
電源の状況			
●	○	○	スタンバイ モードです。
●	○	○	電源を入れています。
●	○	○	通常動作状態です。
●	○	○	通常の電源オフ冷却プロセスです。
●	●	●	ダウンロード。
●	○	●	CW スタート失敗。
●	○	○	データ中断、スケーラーが異常なシャットダウンをしました。
書き込みイベント			
●	○	○	書き込みオン。
●	●	●	書き込みオフ。
光源イベント			
●	○	●	光源の寿命が切れました。
○	○	●	通常動作時に光源エラー発生。
○	○	●	光源が点灯していません。
温度の状況			
●	●	○	ファン 1 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
●	●	○	ファン 2 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
●	●	○	ファン 3 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
●	●	○	温度 1 エラー（上限温度オーバー）。

	○: **オフ**	●: オレンジ色点灯 ●: オレンジ色点滅	●: 緑点灯 ●: 緑点滅	●: 赤点灯 ●: 赤点滅

トラブルシューティング

プロジェクターの電源がオンにならない。

原因	対応
電源コードから電源が来ていません。	電源コードが、プロジェクターの AC 電源ジャックと、コンセントに、正しく差し込まれていることを確認してください。また、コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認してください。
冷却プロセスの間にプロジェクターの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。

画像が映らない。

原因	対応
ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
プロジェクターが正しく入力信号デバイスに接続されていません。	接続を確認します。
入力信号が正しく選択されていません。	**SOURCE** キーを使って正しい入力信号を選択してください。
レンズカバーが閉じられたままです。	レンズカバーを外してください。

イメージがぼやける。

原因	対応
投写レンズの焦点が合っていません。	フォーカスリングで焦点を合わせてください。
プロジェクターとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であればプロジェクターの高さを調整します。
レンズカバーが閉じられたままです。	レンズカバーを外してください。

リモコンが機能しない。

原因	対応
電池が切れています。	新しい電池に交換します。
リモコンとプロジェクターの間に障害物があります。	障害物を取り除いてください。
プロジェクターからの距離が遠すぎます。	プロジェクターから 8 メートル（26 フィート）以内の場所で操作してください。

パスワードが間違っている。

原因	対応
入力したパスワードが正しくありません。	21 ページの「パスワードの復旧を行うには」を参照してください。

仕様

プロジェクターの仕様

仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

光学仕様

解像度
1920 (H) x 1080 (V)

ディスプレイ システム
1-CHIP DMD

レンズ
F = 2.56 ~ 2.68、f = 22 ~ 24.1 mm

ランプ
203 W ランプ

電気仕様

電源
AC 100–240 V、3.2 A、50–60 Hz（自動）

消費電力
280 W（最大）、< 0.5 W（スタンバイ）

機械的仕様

重量
2.5 Kg (5.5 lbs)

出力端子

スピーカー
10 ワット x 1

オーディオ信号出力
PC オーディオジャック x 1

コントロール

USB
Type-A 電源 5V /1.5 A x 1、Mini-B x 1

RS-232 シリアル コントロール
9 pin x 1

IR 受信機 x 2

入力端子

ビデオ信号入力
デジタル - HDMI x 2

オーディオ信号入力
オーディオ入力
PC オーディオジャック x 1
（プロジェクターの入力ソースを HDMI に設定し、DVI ケーブルと DVI-HDMI アダプターで DVI デバイスと接続した場合のみ動作します。）

環境要件

動作温度範囲
0°C–40°C（海抜 0 m 以上）

動作相対湿度範囲
10%–90%（結露なきこと）

操作高度範囲
0–1499 m (0°C–35°C)
1500–3000 m（0°C–30°C、高地モードオン）

保管温度範囲
-20°C–60 ℃（海抜 0 m 以上）

保管湿度範囲
10% – 90% RH（結露なきこと）

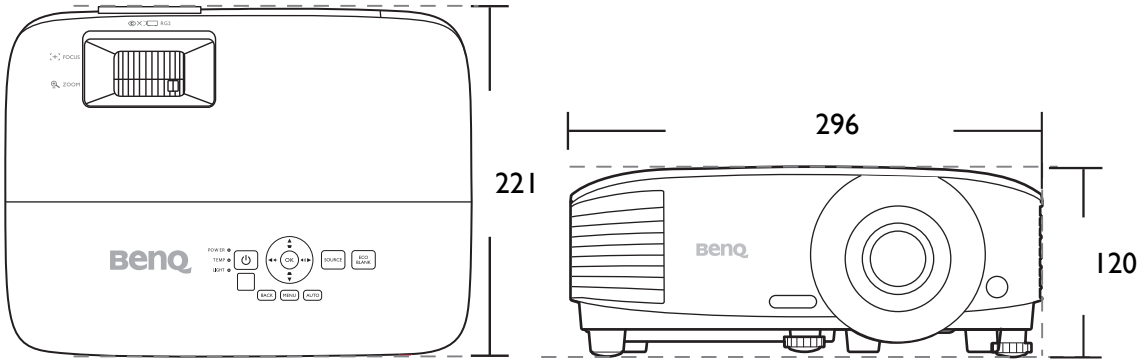
保管高度範囲
30°C@ 0~12,200 m（海抜 0 m 以上）

搬送
製品が梱包されていたときの梱包材をご使用になることをお薦めします

修理
お問い合わせ窓口については、次のホームページを開き、お住まいの国を選択してください。
http://www.benq.com/welcome

外形寸法

296 mm（幅）x 120 mm（高さ）x 221 mm（奥行き）



単位：mm

タイミングチャート

サポートされる HDMI (HDCP) 入力のタイミング

• PC タイミング

解像度	モード	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)	対応 3D 形式		
					F. シーケンシャル	上 - 下	サイドバイサイド
640 x 480	VGA_60	59.940	31.469	25.175	V	V	V
	VGA_72	72.809	37.861	31.500			
	VGA_75	75.000	37.500	31.500			
	VGA_85	85.008	43.269	36.000			
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221			
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000	V	V	V
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000			
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500			
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250			
	SVGA_120 (Reduce Blanking)	119.854	77.425	83.000	V		
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000	V	V	V
	XGA_70	70.069	56.476	75.000			
	XGA_75	75.029	60.023	78.750			
	XGA_85	84.997	68.667	94.500			
	XGA_120 (Reduce Blanking)	119.989	97.551	115.5	V		
1152 x 864	1152 x 864_75	75	67.5	108			
1024 x 576@60 Hz	BenQ Notebook Timing	60.00	35.820	46.996			
1024 x 600@65 Hz	BenQ Notebook Timing	64.995	41.467	51.419			
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45.000	74.250	V	V	V
1280 x 768	1280 x 768_60	59.870	47.776	79.5	V	V	V
1280 x 800	WXGA_60	59.810	49.702	83.500	V	V	V
	WXGA_75	74.934	62.795	106.500			
	WXGA_85	84.880	71.554	122.500			
	WXGA_120 (Reduce Blanking)	119.909	101.563	146.25	V		
1280 x 1024	SXGA_60	60.020	63.981	108.000		V	V
	SXGA_75	75.025	79.976	135.000			
	SXGA_85	85.024	91.146	157.500			
1280 x 960	1280 x 960_60	60.000	60.000	108		V	V
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.500			
1360 x 768	1360 x 768_60	60.015	47.712	85.500		V	V
1440 x 900	WXGA+_60	59.887	55.935	106.500		V	V
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.750		V	V
1600 x 1200	UXGA	60.000	75.000	162.000		V	V
1680 x 1050	1680 x 1050_60	59.954	65.290	146.250		V	V
640 x 480@67 Hz	MAC13	66.667	35.000	30.240			
832 x 624@75 Hz	MAC16	74.546	49.722	57.280			
1024 x 768@75 Hz	MAC19	75.020	60.241	80.000			
1152 x 870@75 Hz	MAC21	75.06	68.68	100.00			
1920 x 1080@60 Hz	1920 x 1080_60	60	67.5	148.5	V	V	V
1920 x 1200@60 Hz	1920 x 1200_60 (Reduce Blanking)	59.95	74.038	154	V	V	V

上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

• ビデオ タイミング

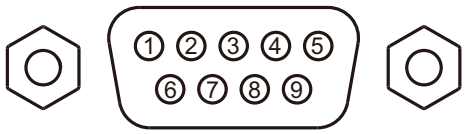
タイミング	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル周波数 (MHz)	対応 3D 形式			
					F. シーケンシャル	フレームパッキング	上 - 下	サイドバイサイド
480i	720 (1440) x 480	59.94	15.73	27	V			
480p	720 x 480	59.94	31.47	27	V			
576i	720 (1440) x 576	50	15.63	27				
576p	720 x 576	50	31.25	27				
720/50p	1280 x 720	50	37.5	74.25		V	V	V
720/60p	1280 x 720	60	45.00	74.25	V	V	V	V
1080/50i	1920 x 1080	50	28.13	74.25				V
1080/60i	1920 x 1080	60	33.75	74.25				V
1080/24P	1920 x 1080	24	27	74.25		V	V	V
1080/25P	1920 x 1080	25	28.13	74.25				
1080/30P	1920 x 1080	30	33.75	74.25				
1080/50P	1920 x 1080	50	56.25	148.5			V	V
1080/60P	1920 x 1080	60	67.5	148.5			V	V

RS232 コマンド

RS232 ピン割り当て

番号	シリアル
1	NC
2	RX
3	TX
4	NC
5	GND

番号	シリアル
6	NC
7	RTSZ
8	CTSZ
9	NC



機能	タイプ	操作	ASCII
電源	ライト	電源オン	<CR>*pow=on#<CR>
	ライト	パワーオフ	<CR>*pow=off#<CR>
	リード	電源状態	<CR>*pow=?#<CR>
ソース選択	ライト	HDMI (MHL)	<CR>*sour=hdmi#<CR>
	ライト	HDMI 2 (MHL2)	<CR>*sour=hdmi2#<CR>
	リード	現在のソース	<CR>*sour=?#<CR>
音声制御	ライト	ミュートオン	<CR>*mute=on#<CR>
	ライト	ミュートオフ	<CR>*mute=off#<CR>
	リード	ミュートの状態	<CR>*mute=?#<CR>
	ライト	音量 +	<CR>*vol=+#<CR>
	ライト	音量 -	<CR>*vol=-#<CR>
	ライト	観客用音量レベル	<CR>*vol=value#<CR>
	リード	音量の状態	<CR>*vol=?#<CR>
ピクチャモード	ライト	高輝度	<CR>*appmod=bright#<CR>
	ライト	リビング	<CR>*appmod=livingroom#<CR>
	ライト	ゲーム	<CR>*appmod=game#<CR>
	ライト	シネマ (Rec.709)	<CR>*appmod=cine#<CR>
	ライト	ユーザー設定 1	<CR>*appmod=user1#<CR>
	ライト	3D	<CR>*appmod=threed#<CR>
	ライト	スポーツ	<CR>*appmod=sport#<CR>
	リード	ピクチャモード	<CR>*appmod=?#<CR>
画像設定	ライト	コントラスト +	<CR>*con=+#<CR>
	ライト	コントラスト -	<CR>*con=-#<CR>
	ライト	コントラスト値を設定	<CR>*con=value#<CR>
	リード	コントラスト値	<CR>*con=?#<CR>
	ライト	輝度 +	<CR>*bri=+#<CR>
	ライト	輝度 -	<CR>*bri=-#<CR>
	ライト	明度値を設定	<CR>*bri=value#<CR>
	リード	明度値	<CR>*bri=?#<CR>
	ライト	シャープネス +	<CR>*sharp=+#<CR>
	ライト	シャープネス -	<CR>*sharp=-#<CR>
	ライト	シャープネス値を設定	<CR>*sharp=value#<CR>
	リード	シャープネス値	<CR>*sharp=?#<CR>
	ライト	色温度 - 暖色	<CR>*ct=warm#<CR>
	ライト	色温度 - ノーマル	<CR>*ct=normal#<CR>
	ライト	色温度 - 寒色	<CR>*ct=cool#<CR>
	ライト	色温度 - ランプのネイティブ	<CR>*ct=native#<CR>
	リード	色温度の状態	<CR>*ct=?#<CR>

画像設定 （続く）	ライト	アスペクト比 4:3	<CR>*asp=4:3#<CR>
	ライト	アスペクト比 16:9	<CR>*asp=16:9#<CR>
	ライト	自動アスペクト比	<CR>*asp=AUTO#<CR>
	リード	アスペクト比の状態	<CR>*asp=?#<CR>
	ライト	縦キートーン +	<CR>*vkeystone=+#<CR>
	ライト	縦キートーン -	<CR>*vkeystone=-#<CR>
	リード	縦台形補正値	<CR>*vkeystone=?#<CR>
	ライト	ブリリアントカラー オン	<CR>*BC=on#<CR>
	ライト	ブリリアントカラー オフ	<CR>*BC=off#<CR>
	リード	ブリリアントカラーの状態	<CR>*BC=?#<CR>
操作設定	ライト	プロジェクターの投写位置 - 前面投写	<CR>*pp=FT#<CR>
	ライト	プロジェクターの投写位置 - リア投写	<CR>*pp=RE#<CR>
	ライト	プロジェクターの投写位置 - 天井リア投写	<CR>*pp=RC#<CR>
	ライト	プロジェクターの投写位置 - 天井前面投写	<CR>*pp=FC#<CR>
	リード	プロジェクターの投写位置の状態	<CR>*pp=?#<CR>
	ライト	クイック冷却オン	<CR>*qcool=on<CR>
	ライト	クイック冷却オフ	<CR>*qcool=off<CR>
	リード	クイック冷却の状態	<CR>*qcool=?#<CR>
	ライト	クイック自動検索オン	<CR>*QAS=on#<CR>
	ライト	クイック自動検索オフ	<CR>*QAS=off#<CR>
	リード	クイック自動検索の状態	<CR>*QAS=?#<CR>
	ライト	ダイレクト電源オン - オン	<CR>*directpower=on#<CR>
	ライト	ダイレクト電源オン - オフ	<CR>*directpower=off#<CR>
	リード	ダイレクト電源オン - 状態	<CR>*directpower=?#<CR>
	ライト	信号電源オン - オン	<CR>*autopower=on#<CR>
	ライト	信号電源オン - オフ	<CR>*autopower=off#<CR>
	リード	信号電源オン - 状態	<CR>*autopower=?#<CR>
ボーレート	ライト	9600	<CR>*baud=9600#<CR>
	ライト	14400	<CR>*baud=14400#<CR>
	ライト	19200	<CR>*baud=19200#<CR>
	ライト	38400	<CR>*baud=38400#<CR>
	ライト	57600	<CR>*baud=57600#<CR>
	ライト	115200	<CR>*baud=115200#<CR>
	リード	現在のボーレート	<CR>*baud=?#<CR>
ランプ制御	リード	ランプ	<CR>*ltim=?#<CR>
	ライト	ノーマル モード	<CR>*lampm=lnor#<CR>
	ライト	Eco モード	<CR>*lampm=eco#<CR>
	ライト	スマートエコモード	<CR>*lampm=seco#<CR>
	ライト	スマートエコモード 2	<CR>*lampm=seco2#<CR>
	リード	ランプモードの状態	<CR>*lampm=?#<CR>

その他	リード	型番	<CR>*modelname=?#<CR>
	リード	システム ファームウェアバージョン	<CR>*sysfwversion=?#<CR>
	ライト	消画オン	<CR>*blank=on#<CR>
	ライト	消画オフ	<CR>*blank=off#<CR>
	リード	消画の状態	<CR>*blank=?#<CR>
	ライト	メニューオン	<CR>*menu=on#<CR>
	ライト	メニューオフ	<CR>*menu=off#<CR>
	リード	メニューの状態	<CR>*menu=?#<CR>
	ライト	上	<CR>*up#<CR>
	ライト	下	<CR>*down#<CR>
	ライト	右	<CR>*right#<CR>
	ライト	左	<CR>*left#<CR>
	ライト	入力	<CR>*enter#<CR>
	ライト	戻る	<CR>*back#<CR>
	ライト	ソースメニュー オン	<CR>*sourmenu=on#<CR>
	ライト	ソースメニュー オフ	<CR>*sourmenu=off#<CR>
	リード	ソースメニューの状態	<CR>*sourmenu=?#<CR>
	ライト	3D 同期オフ	<CR>*3d=off#<CR>
	ライト	3D 自動	<CR>*3d=auto#<CR>
	ライト	3D 同期上 - 下	<CR>*3d=tb#<CR>
	ライト	3D 同期フレームシーケンシャル	<CR>*3d=fs#<CR>
	ライト	3D フレーム パッキング	<CR>*3d=fp#<CR>
	ライト	3D サイドバイサイド	<CR>*3d=sbs#<CR>
	ライト	3D インバーター無効	<CR>*3d=da#<CR>
	ライト	3D インバーター	<CR>*3d=iv#<CR>
	リード	3D 同期の状況	<CR>*3d=?#<CR>
	ライト	インスタントオン - オン	<CR>*ins=on#<CR>
	ライト	インスタントオン - オフ	<CR>*ins=off#<CR>
	リード	インスタントオンの状態	<CR>*ins=?#<CR>
	ライト	高地モードオン	<CR>*Highaltitude=on#<CR>
	ライト	高地モードオフ	<CR>*Highaltitude=off#<CR>
	リード	高地モードの状態	<CR>*Highaltitude=?#<CR>
色調整 （補修専用）	ライト	赤ゲイン +	<CR>*RGain=+#<CR>
	ライト	赤ゲイン -	<CR>*RGain=-#<CR>
	ライト	赤ゲイン値を設定	<CR>*RGain=value#<CR>
	リード	赤ゲイン値を取得	<CR>*RGain=?#<CR>
	ライト	緑ゲイン +	<CR>*GGain=+#<CR>
	ライト	緑ゲイン -	<CR>*GGain=-#<CR>
	ライト	緑ゲイン値を設定	<CR>*GGain=value#<CR>
	リード	緑ゲイン値を取得	<CR>*GGain=?#<CR>
	ライト	青ゲイン +	<CR>*BGain=+#<CR>
	ライト	青ゲイン -	<CR>*BGain=-#<CR>
	ライト	青ゲイン値を設定	<CR>*BGain=value#<CR>
	リード	青ゲイン値を取得	<CR>*BGain=?#<CR>
	ライト	赤オフセット +	<CR>*ROffset=+#<CR>
	ライト	赤オフセット -	<CR>*ROffset=-#<CR>
	ライト	赤オフセット値を設定	<CR>*ROffset=value#<CR>
	リード	赤オフセット値を取得	<CR>*ROffset=?#<CR>
	ライト	緑オフセット +	<CR>*GOffset=+#<CR>

色調整 （補修専用） （続く）	ライト	緑オフセット -	<CR>*GOffset=-#<CR>
	ライト	緑オフセット値を設定	<CR>*GOffset=value#<CR>
	リード	緑オフセット値を取得	<CR>*GOffset=?#<CR>
	ライト	青オフセット +	<CR>*BOffset=+#<CR>
	ライト	青オフセット -	<CR>*BOffset=-#<CR>
	ライト	青オフセット値を設定	<CR>*BOffset=value#<CR>
	リード	青オフセット値を取得	<CR>*BOffset=?#<CR>
	ライト	原色	<CR>*primcr=value#<CR>
	リード	原色の状態	<CR>*primcr=?#<CR>
	ライト	色相 +	<CR>*hue=+#<CR>
	ライト	色相 -	<CR>*hue=-#<CR>
	ライト	色相値を設定	<CR>*hue=value#<CR>
	リード	色相値を取得	<CR>*hue=?#<CR>
	ライト	彩度 +	<CR>*saturation =+#<CR>
	ライト	彩度 -	<CR>*saturation =-#<CR>
	ライト	彩度値を設定	<CR>*saturation =value#<CR>
	リード	彩度値を取得	<CR>*saturation =?#<CR>
	ライト	ゲイン +	<CR>*gain=+#<CR>
	ライト	ゲイン -	<CR>*gain=-#<CR>
	ライト	ゲイン値を設定	<CR>*gain=value#<CR>
	リード	ゲイン値を取得	<CR>*gain=?#<CR>
補修 （補修専用）	ライト	エラーレポート向けに補修モード有効化	<CR>*error=enable#<CR>
	リード	エラーコード レポート	<CR>*error=report#<CR>
	リード	ファン 1 速度	<CR>*fan1=?#<CR>
	リード	ファン 2 速度	<CR>*fan2=?#<CR>
	リード	ファン 3 速度	<CR>*fan3=?#<CR>
	リード	温度 1	<CR>*tmp1=?#<CR>
	リード	LED インジケーター	<CR>*led=?#<CR>